

# 「でんきと私」

山口県立 萩商工 高等学校

電気コース 2年 中村虎太郎

私たちは、普段あたり前のように電気を利用して生活している。電気がない世界はどうなっているかは想像でいえないほどに生活には必要不可欠な存在になっている。私は、このような電気についてもっと詳しい知識を得たいと思い、電気科に入学した。入学して早々に第2種電気工事士を取得するための勉強が始まった。最初は専門的な内容で理解することが難しくて、電気科に入学したことを後悔した。しかし、資格を取得すると、自分が電気の技術者に近づいた気がしてすごく嬉しくなった。

電気の仕事に就く為には、資格は必ず必要で、危険が伴う電気を安全に利用する為にも必要なことである。私は将来、電気関係の技術者を目指しているので、高校生のうちに第1種電気工事士も取得していきたいと考えている。資格を沢山取得できれば技術者としての仕事の幅も広げることができると思うので頑張って資格を取得していきたい。

最初は難しく嫌で止めたいと思っていた電気の勉強が最近では、知識を増やすことで楽しいと感じるようになってきたので、もっと沢山の知識を得て、将来の仕事に役立てたいと思う。高校卒業後は、電気関係の会社で技術を磨いて、社会に貢献できる人物になりたいと思う。その為には、学校の勉強は勿論の事、部活動や学校外の色々な活動にも参加して、色々な人と関わって自分を磨いていきたいと思っている。